



2022三田祭論文発表 神田さやこ研究会

3年 藤森拓海 大西新之助
八木橋和哉 岩瀬将一 堀内智生

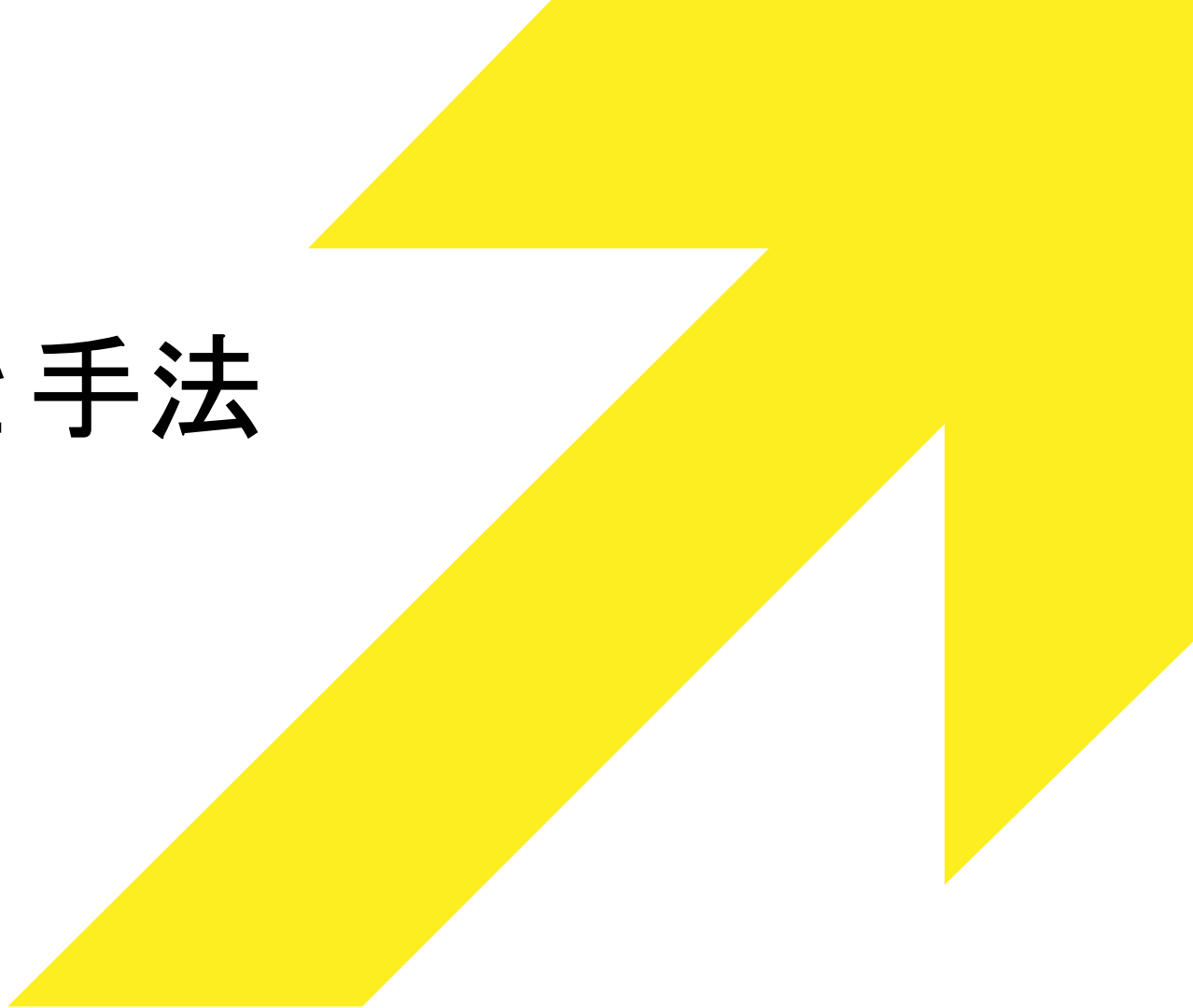
インドにおける経済格差是正制度 である留保制度の変遷とその政治 経済的背景について

目次

1. 目的と手法
2. 論文内容
3. まとめ



1. 目的と手法



1. 目的と手法

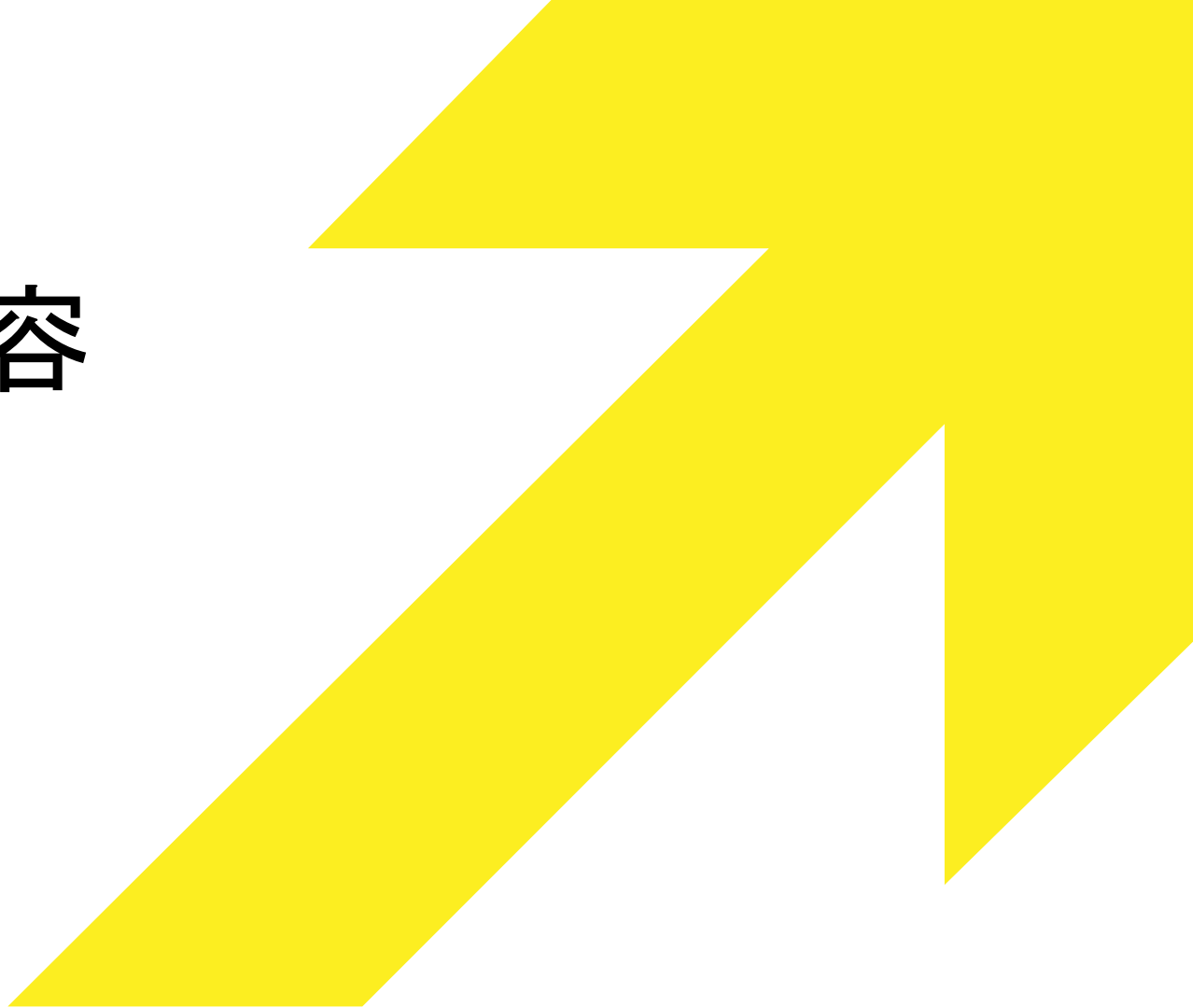
目的

- ①インドにおける経済格差是正制度である留保制度の対象者をめぐる議論が拡大していった要因は何か
- ②複雑化した留保制度は現在のインド社会に対応できているのかに答える

手法

留保制度が制定された**1950**年から現在まで、先行研究や関連する文献資料を留保制度史という観点からまとめる

2.論文内容



2. 論文内容

第一章

インドにおけるカースト制度や留保制度の概念について

第二章

インドの政治経済の概観と留保制度に関して起こった事象について

第三章

留保制度に取り残された人々に関する議論について
例) ムスリム—ナショナリズム、女性問題

第一章

インドにおけるカースト制度や留保制度
の概念について

第一章

(1) インドにおける集団性を表すキーワード、「ヴァルナ」「ジャーティ」「カースト」

「ヴァルナ」...紀元前4世紀頃に成立したバラモン教に基づく4つの職と結びついた身分制度（四姓）。不可触民はヴァルナの外。

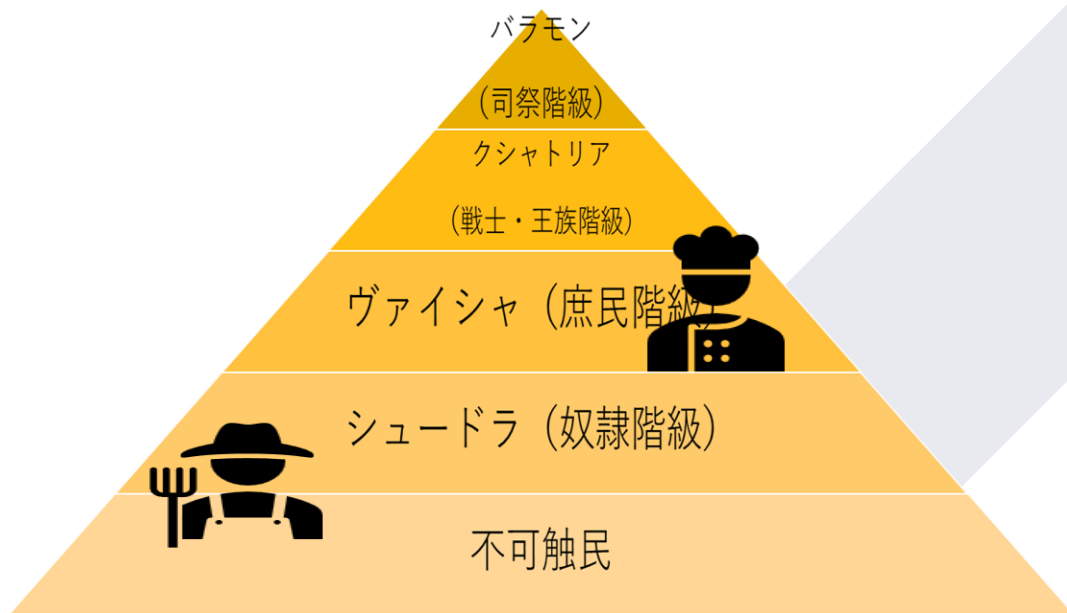


「ジャーティ」...血縁的結合に基づく社会集団。特徴は世襲制に基づいて職が受け継がれていく点。インド全土で2000～3000ある。



第一章

「カースト」...イギリスの統治支配の過程において、**ヴァルナ制度によって表された4つの階層にジャーティが組み込まれた**。したがって、不可触民をアウトカーストと呼称する場合がある。



第一章

不可触民...カーストという階層性の外にいる人々

不可触民

- ・皮革労働者、屠畜業者、街路清掃人、洗濯人などのジャーティ

不浄観

- ・「死」「産」「血」「体からの分泌物」はインド社会において不浄→不可触民は不浄→低い地位

再生産

- ・職が世襲され続ける
= 低い地位の再生産⇒格差
是正のための留保制度

第一章

(2) 留保制度...1950年のインド憲法→「**後進諸階級**」に対して、議席や公的雇用における就業、高等教育における就学に関して、一定の割合で（基本的には人口比）配分の優遇・確保を行う施策。

留保制度

後進諸階級

非適用

旧不可触民

SC

先住民、小数民族

ST

その他の後進諸階級
(1990～)

OBC

ムスリム

女性 (州単位では実現)

第一章

(3) インド社会におけるムスリムと女性

: **ムスリムや女性**は、留保制度が拡大していった中で、なかなか制度の対象とならなかった。

ムスリム（一億二千万人の少数派）

女性

ムスリムとヒンドゥー教徒の対立
(1947年のインド・パキスタン分離独立など)



ムスリムは「共に暮らす人々」であり
「外敵」という二面性



ムスリムはたとえ経済的に困窮していたとしても留保制度の、救うべき対象ではない。

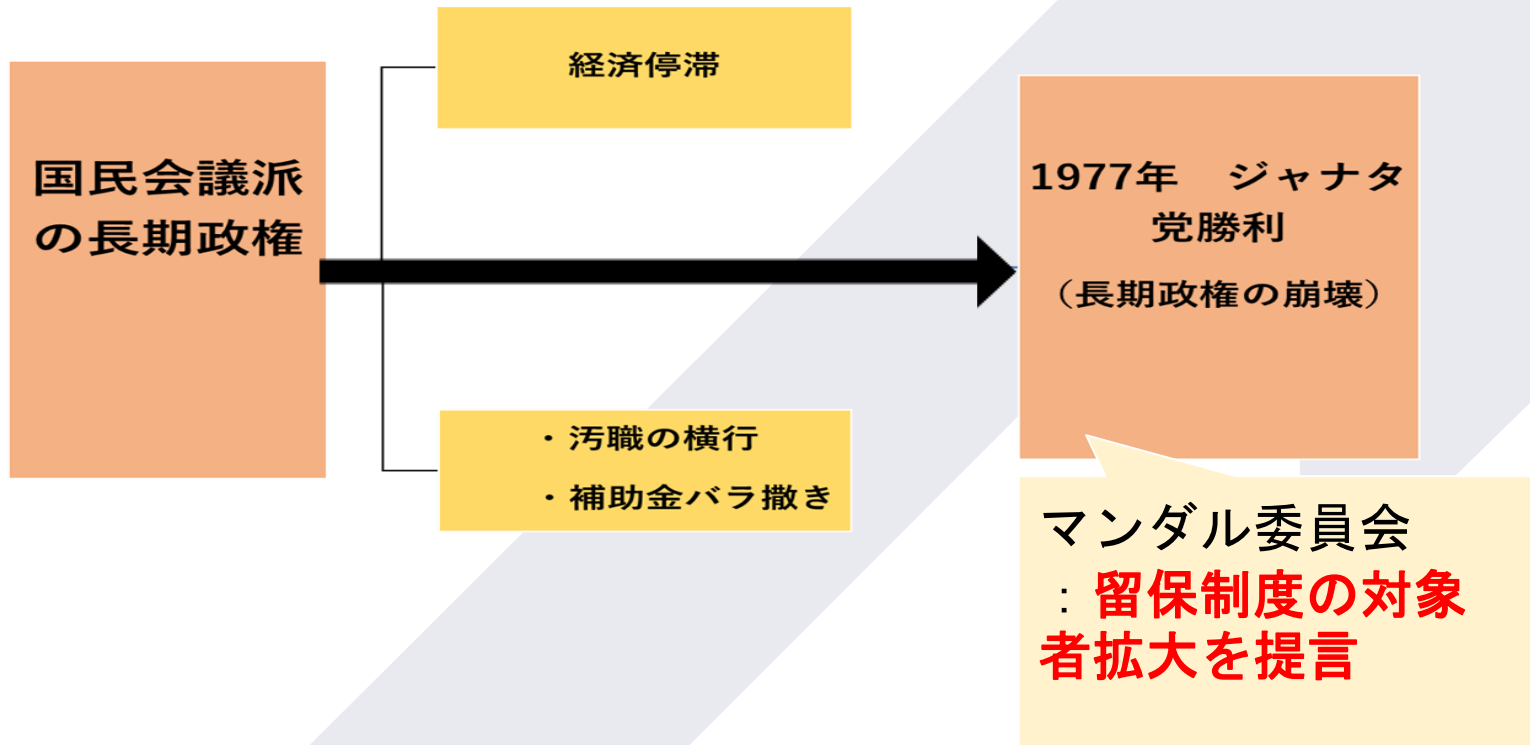
ヒンドゥー社会において女性は比較的低い地位に甘んじてきた。社会に出て仕事をするよりは家庭に残ることを優先されてきた。

第二章

**インドの政治経済の概観と留保制度
に関して起こった事象について**

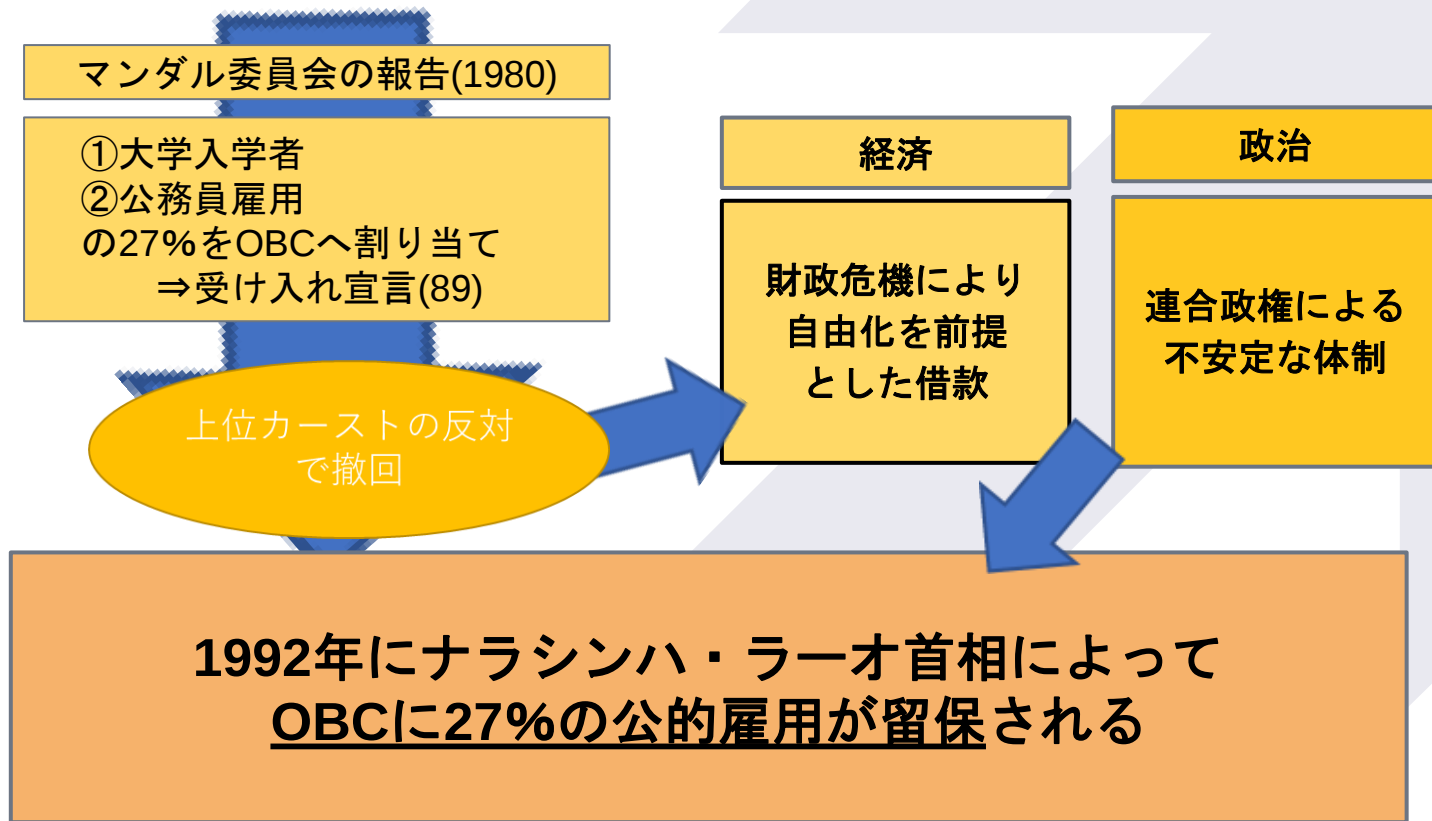
第一節 初期の留保制度（1950年～1980年）

1950年憲法第17条: 不可触民制の撤廃→対象はSC、ST



第二節 留保制度の拡大（1980年代～2014年）

（Ⅰ）1980年代～2004年



第二節

(Ⅱ) 2004年～2014年 (国民会議派 マンモハン・シン期)

経済

経済自由化
9%台の経済成長 (2005年～2007年)



農村の貧困大衆向けの政策

政治

連合政権による不安定な体制
支持基盤の拡大を目指す



大衆向けの政策

大衆の中心=OBC

2006年にマンモハン・シン首相によって
OBCに27%の高等教育機関の入学が留保される

マンモハン・シン首相



https://ja.wikipedia.org/wiki/マンモハン・シン#/media/ファイル:Prime_Minister_Manmohan_Singh_in_WEF_2009.jpg

第二節

OBCへの留保制度拡大による影響

OBCへ
漸次的な
拡大

1980年

- ・ マンダル委員会

1992年

- ・ 公的雇用に実現

2006年

- ・ 上位カーストを中心とした抗議運動

※ ただし90年代ほど激化せず

- ・ 公益訴訟 (ex. タークル判決)

OBCへの留保制度の定着

第三節 留保制度の現状（モディ政権期）



低カースト以外の経済的弱者層への留保

第三章

**留保制度に取り残された人々に関する
議論について**

第三章

(1) ムスリムと留保制度

1935年インド
統治法

・…不可触民をSCへ

留保制度
の非適用

・…「ムスリムは不可触民制と
いう差別構造の枠外にいる」
と言う認識

取り残される
ムスリム

・…インドにおけるムスリムの多く
は元不可触民の改宗者であった

第三章

政治的課題としてのムスリム

：ヒンドゥー・ムスリム間に代表される**排他的かつ攻撃的な共同体主義＝コミュニズム**

1980年代

- ・コミュニズムは大きな論点→政権が交代に伴う政治的流動性を背景に、「ヒンドゥー・ナショナリズム」が台頭
- ・ムスリムコミュニティを社会的に疎外しようとする流れ

1990年代

- ・アヨーディヤー運動（モスクを破壊しヒンドゥー寺院を建立しようとする運動）と、それに伴うコミュニアル暴動→多くのムスリム犠牲者
- ・ムスリムへの政治的配慮…1993年に「少数派に関する国家委員会」→ムスリムの状態を把握することに貢献→社会的経済状況に関して、**ムスリムは一般ヒンドゥー教徒より良くない**

2004年

- ・サチャル委員会の創設（ムスリムに対する政治的配慮が続く）

第三章

現政権でのムスリム

：独立以降の政治的な流れの中でムスリムが中央政府にとって無視できない政治的課題になっていった。**しかし、ムスリムに対する留保制度は成立しない。それどころか...**

モディ現政権

公共サービスの拡充

すべての貧困層に公共サービスを提供する方針

「Indian first」

2019年市民権改正法…
アフガニスタン、バングラデシュ、パキスタンから流入した難民に対して、帰化申請前に計6年以上住んでいることを条件に市民権を与える

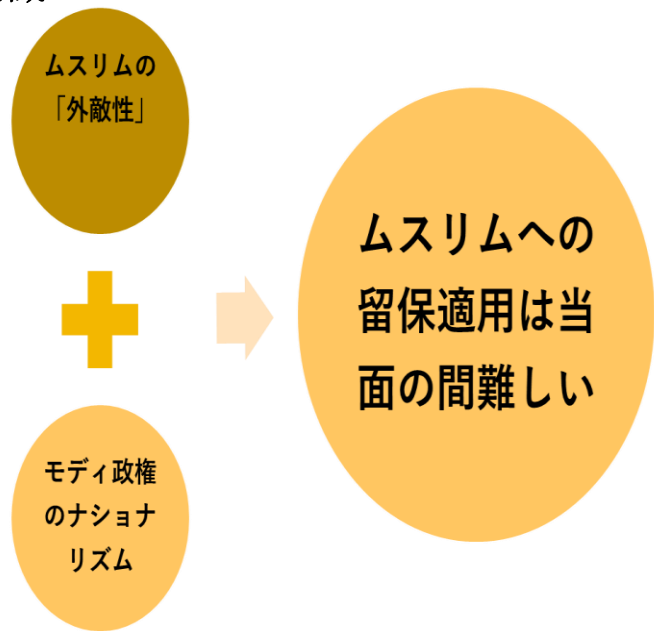
→ **ムスリムだけが対象外**

ナショナリズムの強化

第三章

ムスリムへの留保制度

現状認識



展望

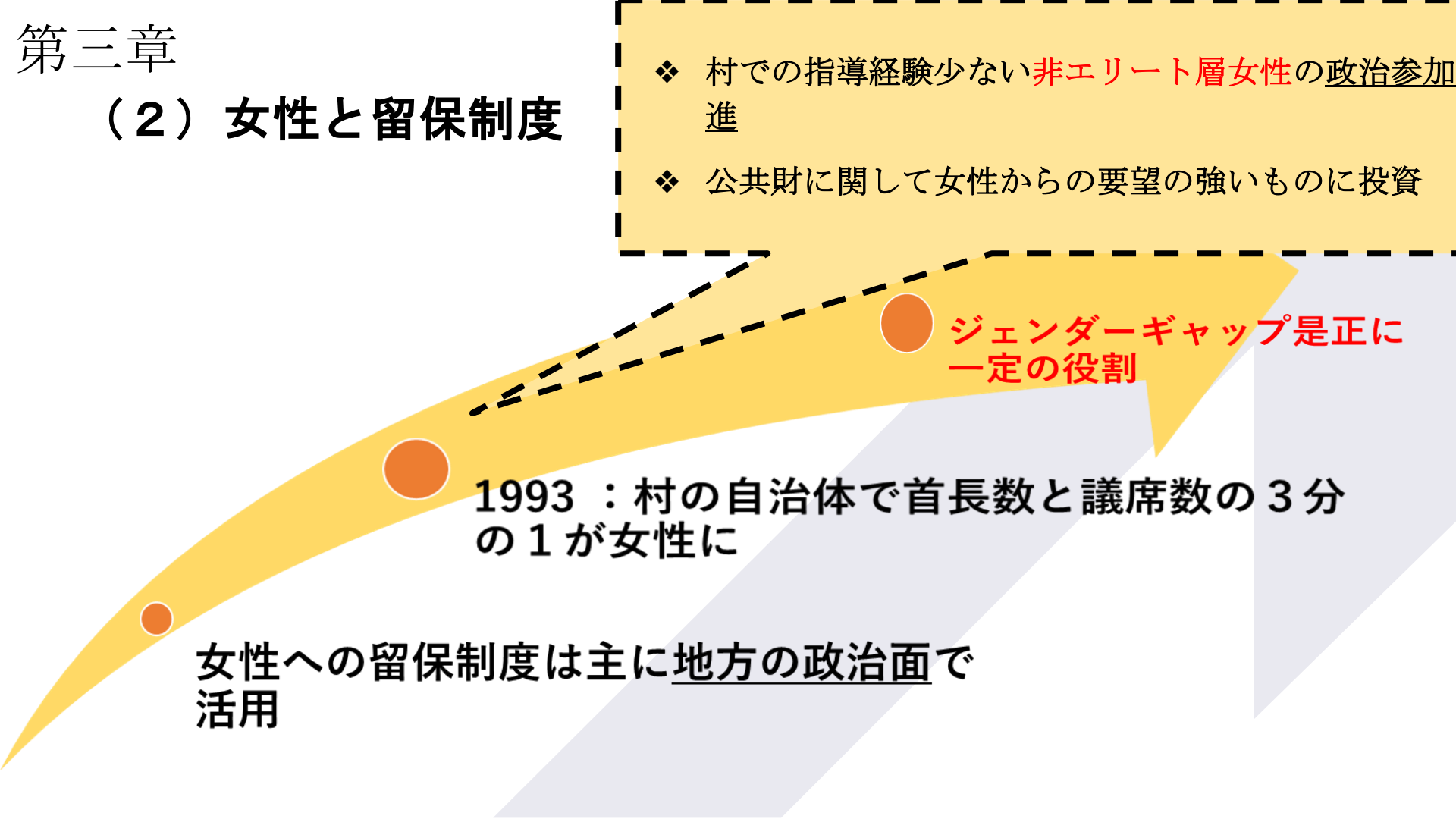
ムスリムが一般のヒンドゥー教徒と比べて社会的
経済状況が劣っているということは確か



格差是正のための留保適用は妥当



- ①宗教対立に留意
- ②現行の留保制度はカーストを基準にしているため、そのままムスリムへ適用することは事実上不可能である→カーストによらない留保制度の基準を設ける必要



第三章

(2) 女性と留保制度

- ❖ 村での指導経験少ない非エリート層女性の政治参加進
- ❖ 公共財に関して女性からの要望の強いものに投資

ジェンダーギャップ是正に一定の役割

1993 : 村の自治体で首長数と議席数の 3 分の 1 が女性に

女性への留保制度は主に地方の政治面で活用

第三章

現状の課題と展望

中央の下院と州議会で同様に3分の1を女性に割り当てる通称「女性留保議席法案」が上院で採決も下院で**棄却 (2010)**

課題

- ・ 州、国政には広がっていない

方針

- ・ 州、国政でどのように女性への留保枠を拡大していくべきか？

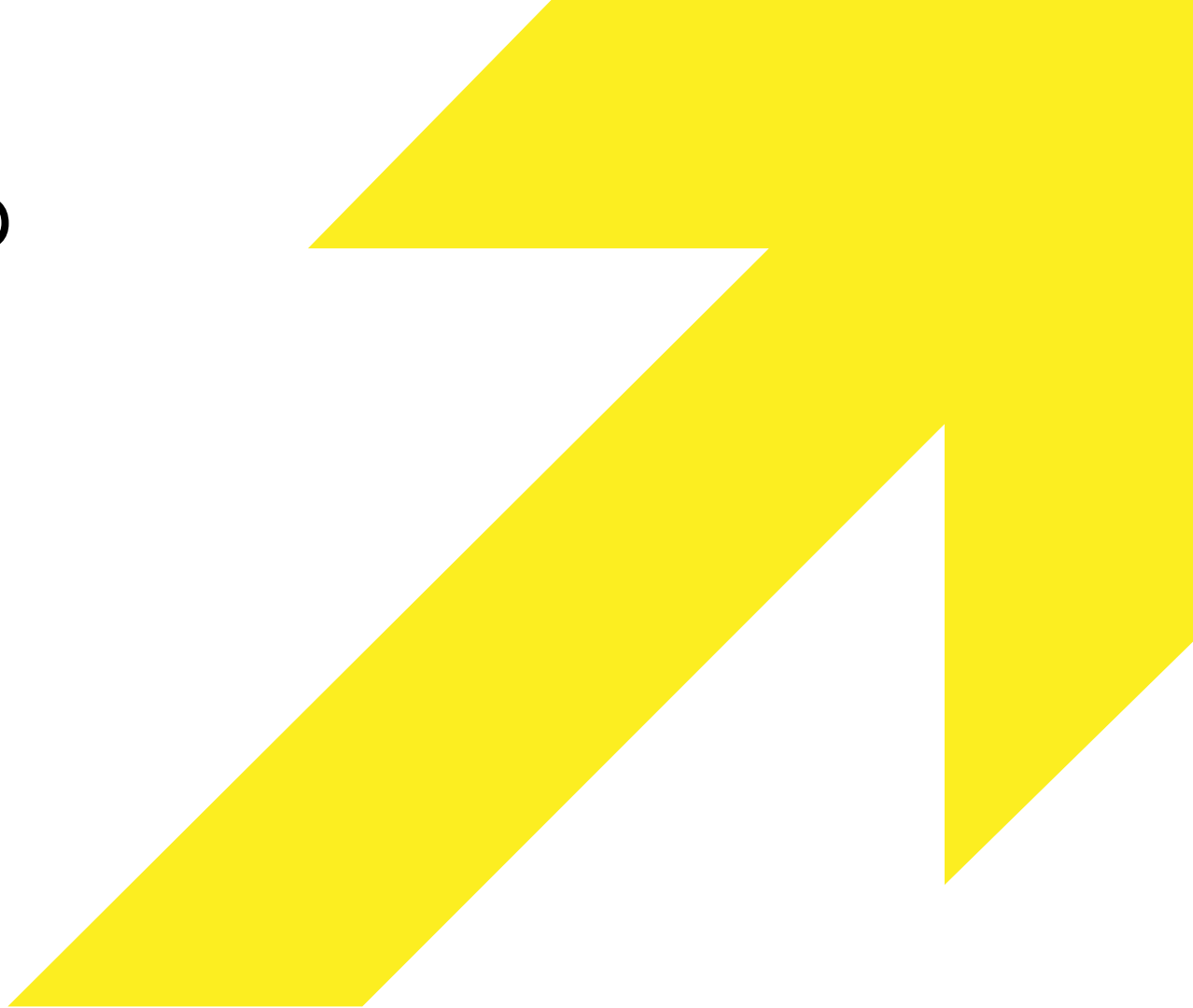
結論

- ・ 漸次的に拡大すべき
ex. 州議会 → 国政の順に拡大

※留意

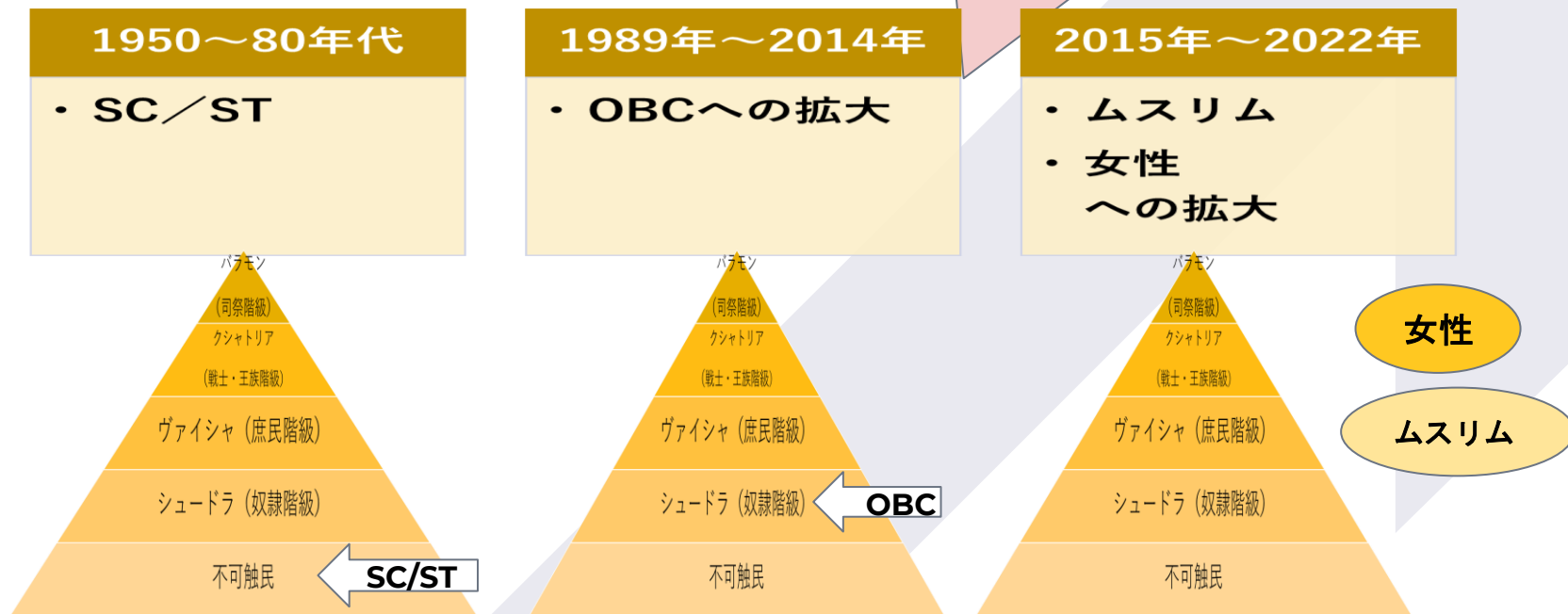
- ・ 印連邦議会において高位カースト出身の女性の割合は男性より大きい
- ・ 直ちに国政へ導入
⇒ エリート政治促進の可能性

3. まとめ



まとめ

複雑化の要因 = 議論の方針転換



参考文献①

- 浅野宣之 2012「インドにおける司法と政治—最高裁裁判官に注目して—」今泉慎也編『アジアの司法化と裁判官の役割』調査研究報告書 アジア経済研究所。
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjasas/2011/23/2011_128/pdf/-char/ja
- 上田知亮 2016「アジア通貨危機と核実験—1990年代インド政治の継続性—」、『東洋法学』59巻2号、東洋大学法学会、355-380ページ。<http://id.nii.ac.jp/1060/00007682/>
- 絵所秀紀 2008『離陸したインド経済—開発の軌跡と展望—』ミネルヴァ書房
- 小川道大・近藤則夫 2017「経済改革は進展するもヒンドゥー民族主義の拡散に苦慮するモディ政権」『アジア動向年報2017年版』日本貿易振興機構アジア経済研究所、489-522ページ。
- 小川道大・近藤則夫 2018「問題を内包しつつも安定した政権運営を続けるモディ政権」『アジア動向年報2018年版』日本貿易振興機構アジア経済研究所、481-514ページ。
- 近藤則夫 2009「序章 インド民主主義体制のゆくえ—挑戦と変容」、『インド民主主義体制のゆくえ：挑戦と変容』日本貿易振興機構アジア経済研究所、3-31ページ。<http://doi.org/10.20561/00042428>
- 近藤則夫 2009「包括的挑戦へのアプローチ：インドの挑戦」、『調査研究報告書 アジア経済研究所』第六章、115-131ページ。
- 近藤則夫 2009「インドにおけるムスリムと他のコミュニティの社会的格差について：近年の研究動向と政策」、『包括的成長へのアプローチ：インドの挑戦』調査研究報告書。
https://www.ide.go.jp/library/Japanese/Publish/Reports/InterimReport/pdf/2008_0106_ch6.pdf
- 近藤則夫 2015『現代インド政治—多様性の中の民主主義—』名古屋大学出版会
- 近藤則夫・佐藤創 2019「2019年の連邦下院選挙を控え流動化する政治」『アジア動向年報2019年版』日本貿易振興機構アジア経済研究所、483-516ページ。
- 近藤則夫・佐藤創 2020「第17次連邦下院選挙と第二次モディ政権の成立」『アジア動向年報2020年版』日本貿易振興機構アジア経済研究所、463-496ページ。

参考文献②

- 佐藤宏 2014「モディ政治を占うー2014年インド総選挙と新政権の発足」『アジ研ワールド・トレンド』227巻、日本貿易振興機構アジア経済研究所、31-41ページ。
- 椎野幸平 2009『インド経済の基礎知識：新経済大国の実態と政策』JETRO
- 清水聡 2009「インドの経済成長ー長期的な課題と短期見通しー」環太平洋ビジネス情報RIM2009 Vol.9 No.33。 <https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/report/rim/pdf/2735.pdf>
- 浅野宜之 2007『インド憲法改正およびその関連法令とこれに関わる最高裁判決-第93次改正を例に-』 https://www.ide.go.jp/library/Japanese/Publish/Reports/InterimReport/pdf/2007_01_06_03.pdf
- 竹中千春 2011「南アジアにおけるジェンダーと政治ーインド民主主義のジェンダー・ダイナミクスー」日本政治学界年報、195-228ページ。 https://doi.org/10.11193/hikakuseiji.13.0_195
- 辻田 祐子 2005「第14次下院選挙で政権交代マンモハン・シン政権の誕生：2004年のインド」アジア動向年報 2005年版。 <http://hdl.handle.net/2344/00002533>
- 戸田真紀子 2020「女性の政治参加と家父長制社会の変容ールワンダと日本との比較ー」京都女子大学。 <http://hdl.handle.net/11173/3024>
- 中津雅明 2017「インド民主主義体制におけるヒンドゥー・ナショナリストの政治戦略の変容：独立後のインド政治の展開とBJS/BJPの戦略動向を中心に」創価大学大学院紀要26、45-71ページ。 <https://irdb.nii.ac.jp/00969/0002381987>
- 中村祐 2009『マヌ法典』に見る浄・不浄観について』大正大学大学院研究論集
- 広瀬崇子 1991「インド国民会議派の組織と機能ー一党優位体制の崩壊」アジア研究37巻3号、アジア政経学会、61-88ページ。 https://doi.org/10.11479/asianstudies.37.3_61
- 広瀬崇子 北川将之 三輪博樹 2011『インド民主主義の発展と現実』勁草書房
- 三浦まり 2013「クオータ制と日本の課題」国際女性 27巻1号96-99ページ。 <https://doi.org/10.11216/kokusaijosei.27.96>
- 森日出樹 2008「インドにおける分権化の進展とパンチャーヤト政治への住民参加」近藤則夫編『インド民主主義体制のゆくえ：多党化と経済成長の時代における安定性と限界』調査研究報告書 アジア経済研究所、163-210ページ。 https://www.ide.go.jp/library/Japanese/Publish/Reports/InterimReport/pdf/2007_01_06_05.pdf

参考文献③

Akshay, Ratan 2014 “MANDAL COMMISSION -PERSISTENCE OF CASTE IDENTITIES and RESERVATIONS IN INDIA”, Dhirubhai Ambani Institute of Information and Communication Technology.

[https://www.researchgate.net/publication/262724077_MANDAL_COMMISSION -
PERSISTENCE_OF_CASTE_IDENTITIES_and_RESERVATIONS_INDIA](https://www.researchgate.net/publication/262724077_MANDAL_COMMISSION_-_PERSISTENCE_OF_CASTE_IDENTITIES_and_RESERVATIONS_INDIA)

Clots-Figueras, I., 2011. Women in politics: Evidence from the Indian States. Journal of public Economics, 95 (7-8), pp.664-690.

Fernandes, Leela. 2006 “India’s new middle class:Democratic Politics in an Era of Economic Reform,Minneapolis’,University of Minnesota press

Global Gender Gap Report <https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2022/>

Karekurve-Ramachandra, V. and Lee, A., 2020. Do gender quotas hurt less privileged groups? Evidence from India. American Journal of Political Science, 64(4), pp.757-772.